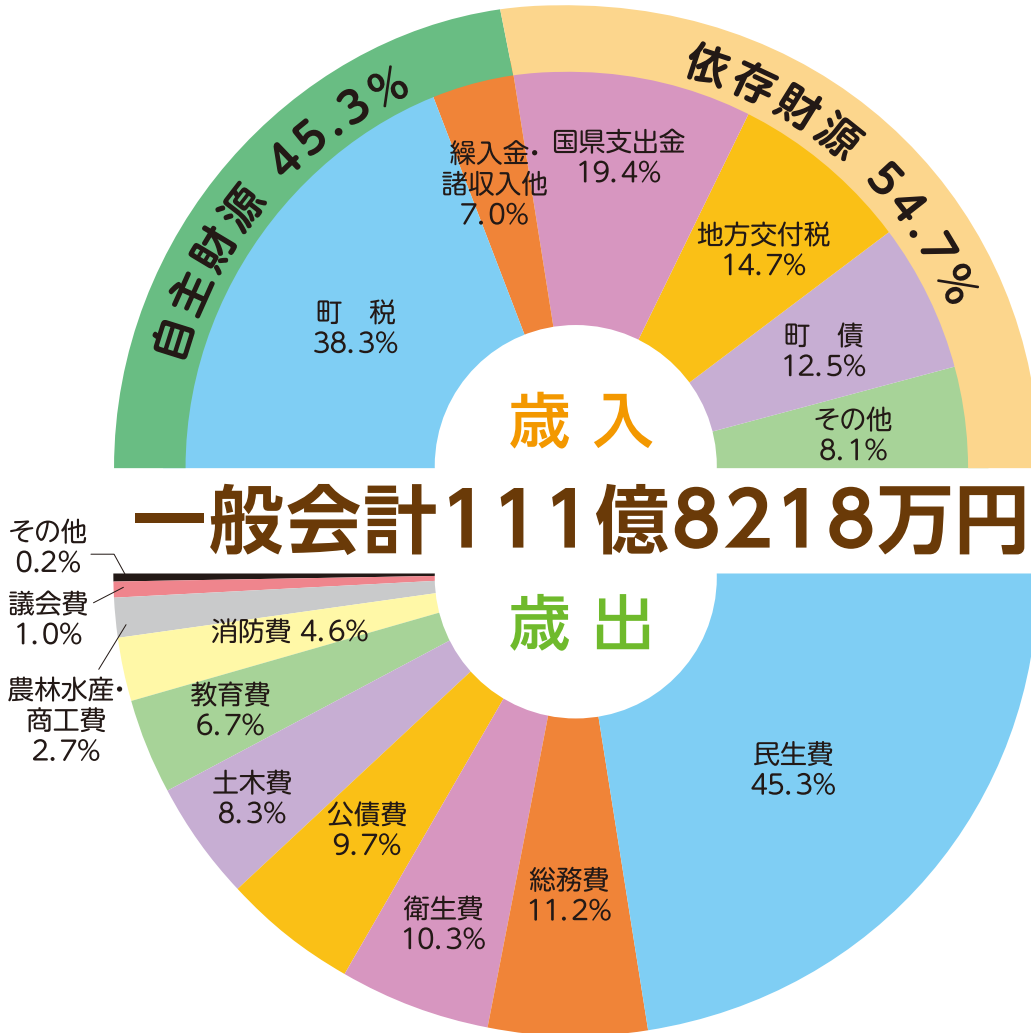


一般会計 111億8218万円 始動

(前年度比2.2%減)



歳入…主要をなす税収において、コロナウイルス感染症の影響が想定より少なかったため増額となったが、コロナ禍の前と比較すると、依然として落ち込んでいる。

歳出…松前中学校改築工事の完了などにより減額となったが、障がい者福祉をはじめとした社会保障関係費が増加し、厳しい状況となっている。

こうした財源不足に対応するため、可能な限り地方債を充当するとともに、財政調整基金から繰入れを行うことで何とか当初予算編成を行った。しかし、補正予算以降の財源については、厳しい状況が予想される。

町債にも注目!

令和3年度 現在高見込 A	令和4年度償還額		令和4年度 借入見込額 C	令和4年度末現在高見込額 (A-B)+C
	元金B	利子		
131億2783万9千円	10億3230万1千円	5094万6千円	14億8760万円	135億8313万8千円

借入見込額のうち1億円以上のもの

白鶴保育所改築事業	4億9450万円
臨時財政対策債※	3億9700万円
聖浄苑負担金	1億2250万円
筒井地区雨水対策事業	1億2060万円

※財源不足を補てんするため、地方自治体が特例として発行する赤字公債

うち令和3年度繰越分 9120万円
令和4年度の借入見込額は 13億9640万円

町債(借入金)について町民1人当たり置き換えると、今年、4万6235円を借り入れ、元金3万4180円(利子を含めた3万5867円)を返済する。しかし、今年度末にはまだ元金44万9743円が残っており、これを返済しなければならない。ということです。